

き ず な

令和7年10月31日

TEL・FAX 0954-66-3113

発行責任者 江口 常雄

す 住 み よ い げん き な みどり 緑 の 郷 さと おお くさ の 大 草 野

校区体育大会 バッチリできました！ 10月19日：日曜日

昨年の大会も前日の土曜日は雨が降って準備が出来ず、当日7時から先生方、PTA、区の役員などが大勢出動して準備をしました。そんな様子を見て、渡邊校長は、「さすが大草野、準備が早い！」と、呟っておられたのを記憶しています。今年は、土曜日の昼頃までに雨は上がり、15時からの準備ができました。大会当日は、程よい曇り空の下で体育大会が順調に進行していきました。私達の子どもの頃のように6学年全部が2クラスずつあった頃は、全学年の徒競走をするだけでも時間がかかっていて、その中に大人の種目も盛りだくさんに行われ、昼食をはさみ15時くらいまで行われていました。最後の地区対抗リレーが大興奮のうちに終わって、その余韻の中で成績発表が行われていましたが、歓声やどよめきが入り混じっていて、当時は、地域の大きな楽しみだったんだ、とあらためて思い出されます。



しっかり準備運動をしてから・・・！

それと比較すると、さすがに時代の流れの中で少し寂しく感じますが、どうすれば元気に愉快地に継続することができるかを、みんながアイデアを出し合っていくことが大切だと思います。

今回の大会は、予定より30分ほど早く終わりました、召集と一般の競技のやり方をもうひと工夫すれば、あと2種目くらいは出来そうな気がします。区の役職の方や、消防団員も部のアピールのために出番があってもいいと思いました。

去年の、子ども達の競技で「借り人競争(?)」みたいな種目は、面白かったと思います。「益世会の人」「公民館長さん」「消防団の人」「コミュニティの人」



PTA 会長！あせがらじ、こぼさんごとばい！



ナイス疾走感！

など、札を拾って子どもが呼びかけ、それに大人が応じて飛び出していった姿は微笑ましく、地域の一体感を感じました。地域の事情は刻々と変化していきます。その中で、学校も地域もウィンウィンであるように「いかに続けるか」を試行錯誤していくことが必要です。私達は、体育大会のありようを課題にできるような状況で暮らしています。この日本で生活していることに感謝しています。ニュースを見ながら、世界中の戦禍にある子ども達に、いち早く静かで、お腹が満たされる状況が戻ってきて欲しいと思います。

<お知らせ> 新幹線嬉野温泉駅のボランティア清掃11月23日(日)について

・総務広報部会・健康福祉部会の方へ・・・突然の予定変更で申し訳ありませんが、この日に予定していた駅のボランティア清掃作業は、中止します。また、あらためてご連絡します。

穫ったぞー！ 芋ほり 体験学習できました！（10月28日：火）

学校の大規模改修工事が始まって、これまでの芋畑が使えなくなってしまいました。この体験学習が出来なくなるのは子どもたちが可哀そうでしたので、今年は、ここ数年コスモス畑にしていたところに芋を育てることにしました。芋は、太陽の光を浴びて光合成によって成長すると言われていす。土地はやせていてもいいようです。今回の芋畑は、その陽当たりの面で少し心配していました。



みんな楽しんでます！

さて、デッカイ芋は入っていたのでしょうか！？

左の写真を見てください、昨年同様、いえ、それを上回るくらいの量かも知れません。大きな芋が見つかるたびに、いえ、たとえ小さくても、見つけた時の嬉しさは格別ようで、大歓声でした。喜んでもらうために準備には汗をかきますが、喜ぶ姿を見るのが一番の心のマッサージになります。

2時間目は、いつものように和光の年長さんと1年生が芋ほりをして、

楽しんでくれました。いい天気にも恵まれて良かったです。参加の皆さんお疲れ様でした！



けっこう採れてますよね！



和光の年長さんも、お姉さんと！

◎丹生神社での相撲大会◎

（10月23日：木）

毎年、大草野校区内の区を5つに分けて、持ち回りで行われる丹生神社の秋祭りが、23日に開催されました。19日の日曜日には校区体育大会があり、引き続いての大きな行事です。

当番区が、ほぼ1年をかけて準備してきた伝統行事です、滞りなく行事を終えることができたようです。大草野小学校の児童は、丹生神社の相撲場を借りて大会を行っています。

コロナ禍では何年か中止もありましたが、こちらも、写真のように、多くの観戦を得てたいへん盛り上がっていました。

祭り関係者の皆さん、出場した子ども達、お疲れ様でした！



普段は静かな境内も・・・！



踏ん張って、押し出そうと・・・！

最近のニュースで気になるのは、日本初の女性総理大臣の誕生ではなく、国内でも有名大企業がサイバー攻撃に晒されていることです。そして、その影響は攻撃を受けた企業だけでなく、国民の生活にも影響を及ぼしているということなんです。私は、SNSのことはよくわからなくて、ヤフーやグーグルで調べものをする程度しかできませんが、現状ではそれでいいと思っています。見えないうちに、誹謗中傷するばかりではなく、騙して金品を奪い取る連中と同じシステムの中にはいたくないと思っています。寄り付きたくないのは、もちろん無知なるが故の私の対策方法ですが、最近では行政側でも色々なアプリを使わせようと取組みが進んでいるようです。この先不安です。サイバー犯罪者が、一度と機器を扱えないような重罰規定の法律ができないものかと思えます。自動車の運転免許証が取り上げられるのと同じような・・・！

よそ事ながら、アサヒやアスクルの企業内でも顧客対応やサイバー対策が大変だと思えます。アスクルなどは殆どがネットによる注文のはずだから、システムが正常に動かなければ、頼んだ商品が届かず「イッくら？」になってしまうのでないでしょうか？

へ編集後記へ
「社名変更？」